

聖パウロ学園「克己」

聖パウロ学園高校

【住所】東京都八王子市下恩方町2727 【創立】1948年 【甲子園歴】なし
八王子の自然に囲まれた環境にあるカトリックミッション校。敷地内に乗馬コースがあり、体験乗馬の授業もある。



王者・帝京戦で得たものは？ オフシーズンの敵は自分たち



聖パウロ学園が秋大会1次予選1回戦で、今夏の東東京大会覇者・帝京相手に接戦のゲームを演じた。結果的に1対2で敗れたが、チームは来春に向けて大きな自信を得た。

■2015、16年 西東京2年連続8強

チームは再び、強くなろうとしている。2015、2016年の西東京大会で2年連続ベスト8となった聖パウロ学園。その後は、トーナメントを駆け上がることができなかったが、復活の予感が漂い始めている。今夏の西東京大会では1回戦で都立強豪・片倉を4対0で撃破、2回戦では杉並工に12対0で完勝。3回戦では工学院に2対4で敗れたが、勝敗の差は紙一重

だった。3年生の選手たちは後輩たちに夢を託して夏を終えた。新チームとして迎える秋大会予選1回戦の相手は、帝京。聖パウロ学園は昨秋も予選で帝京と対戦し0対7で敗れている。2年生を軸としたチームは、帝京に真っ向勝負を挑んだ。

■秋予選は帝京に僅差で敗北

帝京戦の先発は、右腕・眞野文太(2年=投手)。1学年上の兄・寛太は、前チームの主将だった。先輩たちの思いも背負ってマウンドに立った眞野は、初回に2失点したものの、その裏にチームが1点を返し1対2とすると、強気なピッチングで帝京打線を抑えていく。要所では、帝京のエンドランやスクイズを外し、追加点を

許さない。緊迫漂うゲームは1対2のまま終盤へ。聖パウロ学園は、ワンチャンスで逆転できる状況で金星の可能性もあったが、「1点」が奪えずに僅差のまま敗れた。エース眞野は「初回だけは受け身になってしまったが、そのあとはチームとしてしっかりと戦うことができた。負けてしまったけど、帝京相手にしっかりと戦えたことは自信になります。この敗戦を春・夏につなげていくためにも、自分たちで考えながらチームを強くしていきたい」と話す。選手たちは、帝京戦後にミーティングを実施し、気持ちを一つにした。

■チームミッションは己を鍛えること

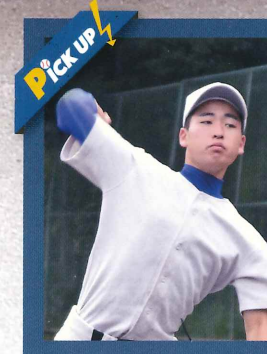
チームは、藤原文慈主将、深沢龍士(2年=内野手)の野手のほか、エース眞野、女房役の草野圭介(2年=捕手)を軸に、深秋そして冬のトレーニングへ向かう。チームが秋予選で敗れたため、約6カ月の長い冬を過ごすことになるが、士気はまったく下がっていない。攻守の要・深沢は「帝京戦では自分たちの甘さが結果につながった。本当の強さを身に付けなければいけない」と課題を話す。選手たちを牽引する藤原主将は「この長い時間を生かしてチームを強くする。1日1日を意味ある時間にして、自分たちで、自分たちの野球をつくっていかねばならない」と仲間を鼓舞する。勝俣秀仁監督は「シードクラスに勝つためにはもう

一段、レベルを上げなければいけない。オフシーズンの敵は自分たち。己に勝つことで、チームは強くなれる」と語る。克己。選手たちは、これからの寒さに負けず、己を鍛え上げていく。秋の屈辱を晴らすのは、春・夏の舞台だ。

**藤原文慈 主将の
チーム分析**

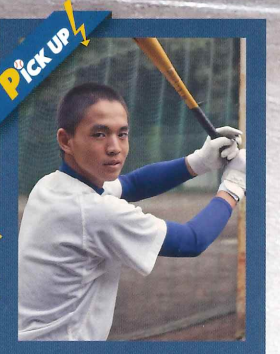
守備を中心にリズム

「新チームは、投手力を軸に守備からリズムをつくっていくチームです。打撃は、エンドランやスクイズを絡めた攻撃で得点を狙っていきます。オフシーズンのトレーニングで打撃力を高めて、春・夏はシード校を倒す力をつけたいと思います」



◀眞野文太(2年=投手)

秋予選で帝京を9回2失点に抑えた骨太右腕。130キロ前半の直球と、低めに刺さるスライダーを武器に真っ向勝負していく。



▶深沢龍士(2年=内野手)

力強い打撃で打線にスイッチを入れるリードオフマン。ライト方向へイカつい打球を飛ばす。攻守のキーマンだ。



秋季大会 帝京戦を忘れない

聖パウロ学園グラウンドのスコアボードには、秋1次予選1回戦・帝京戦のスコアがそのまま残されている。無観客試合だったため、保護者がグラウンドでスコアを速報していたという。選手たちは、そのスコアを残して練習に励む。深沢龍士(2年=内野手)は「あの試合の悔しさをチームの力に変えていきたい」と練習に向かう。1対2のスコアがチームを強くする。



聖パウロ学園・勝俣秀仁監督

目に見えない部分の大切さ

「この数年間で、チームの雰囲気が大きく変わってきました。グラウンドだけではなく学校生活から行動を見直したことで、選手たちの意識に変化がみえた。いまは選手たちが目に見えない部分の大切さを理解し、自分たちで改善点を言い合えるようになっていきます。オフシーズンは自分たちとの戦い。ここを乗り越えればチームは成長していくと思います。」

1982年生まれ。八王子一駒澤大。駒大卒業後、母校・八王子でOBコーチをしながら日体大で教員免許を取得。聖パウロで助監督を務めたのち2009年から監督。